

総研大ニューズレター

第 19 号 2009. 12 発行

● 目次

【今月のトピック】	「第 2 回総研大合同フォーラム及び 一般向け大学紹介「総研大ってなに？」開催	総務課
	「フォーラム 実り多い未来へ ～世界のワーク・ライフ・バランス～」	開催 総務課
	「総研大レクチャー ～英語による研究交流～」	開催 全学事業推進室
	「横須賀高校プレアカデミア 特別講義開催」	総務課
	「第 12 回先導科学研究科学術講演会開催」	葉山共通事務室

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「第 2 回総研大合同フォーラム及び一般向け大学紹介「総研大ってなに？」の開催」

去る 11 月 16 日に学術総合センターにおいて一般の方も含めて第 2 回総研大合同フォーラム及び一般向け大学紹介「総研大ってなに？」を開催いたしました。

午前中に開催した一般向け大学紹介「総研大ってなに？」では本学初めての試みとして南極やすばる望遠鏡の話題を中心にハワイ観測所と TV 中継も交えて大学の紹介をしました。約 50 名の参加者があり、いろいろと課題もありましたが第 1 回目としては当初の目的は果たせたのではないかと考えております。アンケート結果も好意的な意見が多く寄せられました。

また、午後からは第 2 回総研大合同フォーラムとして国立情報学研究所の新井教授「数学は言葉」、国立歴史民俗博物館の新谷教授「伊勢神宮と出雲大社—「日本」と「天皇」の誕生—」、基礎生物学研究所の西村教授「環境と共に生きる植物」のそれぞれ分野の異なる 3 つの講演会を開催しました。約 120 人の参加者がありましたが、一橋記念講堂が広いので少ない感じは否めませんでした。参加者からは講演時間が短い、もう少し話を聞きたいなどの意見が多く、内容は満足というアンケート結果が大半でしたが、次回開催に向けてはプログラム構成や広報活動も検討する必要があります。

フォーラム終了後、同会場で懇親会を開催しました。名誉教授の先生方や講師の先生の参加もあり、和気藹々と歓談がなされました。



【文責 総務課】

「フォーラム 実り多い未来へ ～世界のワーク・ライフ・バランス～ 開催」

男女共同参画社会とワークライフバランスのあり方を考えるフォーラム「実り多い未来へ ～世界のワークライフバランス～」を10月31日（土）、かながわ国際交流財団との共催で、横浜市栄区のあーすぷらざで開催しました。

比較文化学専攻准教授の韓先生の講演の後、林義亮氏（神奈川新聞社論説副主幹）がコーディネーターとなり、仁井テリー氏（人材開発コンサルタント）、裴安氏（NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター理事長）、山下明良氏（横浜銀行広報IR室長）らとのパネルディスカッションが行われました。参加者は48名、大学生から70代以上の方まで、幅広い年代の方々の参加がありました。

韓先生の講演では、日中間の制度の違いやその社会的背景、地域社会の役割の重要性が説明され、各パネリストからの「個人や時期により最適なワークライフバランスは異なる（仁井氏）」などといった示唆に富む意見と活発なディスカッションに、参加者は興味深く聞き入っており、講師・パネリストに多くの質問が寄せられました。

アンケート結果でも講演に満足したという回答が多く、参加者の今回のフォーラムに対する高い評価が窺えました。



挨拶を述べる野村副学長



パネルディスカッションの様子

【文責 総務課】

「総研大レクチャー ～英語による研究交流～ 開催」

平成21年10月5日から10月7日にかけて平成21年度総研大レクチャー「英語による研究交流」が総研大葉山キャンパス及び湘南国際村センターにおいて開催されました。学生が自身の研究の魅力を世界にアピールできるプレゼンテーションスキルや国際会議の場で自由にディスカッションを行うことのできるスキルを向上させること、また、他の専攻、同じ専攻の他分野の学生、教員間の交流を深めることを目的に行われました。学内から13名の学生、学外から4名の学生、そして10名の教員が参加しました。



以下、参加された学生の感想

○今回の「英語による研究交流」では、「自分の研究を out put する」為に必要なエッセンスがとにかくたくさん詰まっていたように思います。

授業の流れとしては、全体講義でプレゼンテーションのエッセンスについて大まかにコンセンサスを取った後、レベル毎の班に分かれ、気をつけるべき点や細かな技術についてのレクチャーを受け、さらに、それらを踏まえて自分のプレゼンテーションを具体的に改善していくというものでした。学んだ事をすぐに実践できるチャンスがあったことで、理解したような気になったまま曖昧になりがちな知識を、より深く身につけられたと思います。

一般的なオーラルプレゼンテーションについてだけでなく、ライティングや英語でのコミュニケーションについても小レクチャーがあり、英語を使って何かを output をする、ということにまだ馴染みがない私にとっては、新たな視点、知識を多く得ることのできる素晴らしい機会となりました。

授業を行う中で、他専攻の人と discussion する機会も多く、また、休み時間内に、興味があればお互いに情報交換もできたので、この授業のテーマの一つである「交流」という点においても楽しむことができました。全体的に時間がない印象もありましたが、あまりに消化不良になってしまったという事はなく、個人的には、英語漬けになったことにより、むしろモチベーションを高く保ったまま英語に挑戦することができました。

欲を言えば、自分のプレゼンテーションの改良版をさらに評価してもらい、もう一度大きく見直すための時間的余裕があれば、さらによりプレゼンテーションにつなげられるのではないかと感じました。しかしながら、授業をオーガナイズくださった諸先生方、また講師の方々のもモチベーションも非常に高く、学ぶ側にやる気がある程、勉強のできるとても楽しいレクチャーでした。

【生命科学研究科遺伝学専攻 D1 酒田祐佳】

○このレクチャーは主にパワーポイントを使ったプレゼンテーションの能力を向上させるためのものでした。私がこのレクチャーを受講して、成長したと思えることは3つです。1つ目は当たり前前のことですが英語のプレゼンテーションに自信がついたということです。国際交流の多い総研大の学生にとっては、英語によるコミュニケーションはそれほど苦勞するものではないかもしれませんが、改まって考えてみると、自分の研究内容を正確に英語で伝えようとするのがいかに難しいかということがわかります。それを、さらに、決まった時間内で相手に一つの成果として受け止めてもらえ、理解してもらえることはさらに難しいことです。英語でこの形を作り上げる作業を全体として見通せたことが自信がついた要因です。2つ目は、1つ目のことが英語だけの問題でなかったかもしれない気がついたことです。普段、そこそこできている日本語のプレゼンテーションについても、実は落ち着いて、全体を振り返ることのできる機会は少ないと思います。プレゼンテーションそのものやり方を振り返ることができたことは重要でした。3つ目として、多角的な視点から発表を振り返れたことです。本レクチャーでは総研大の各専攻から参加者が集められていました。もちろん先生方も一つの専攻からいらしている訳ではなく、プレゼンテーションを修正していく上では様々な方向から指摘を受けることができました。非常に有意義な、かつとても総研大らしいレクチャーであったと思っています。



【複合科学研究科情報学専攻 D1 加藤尚徳】

「横須賀高校プレアカデミア 第1回特別講義開催」

平成21年10月29日（木）に県立横須賀高校で総合研究大学院大学による第1回特別講義が行われました。総合研究大学院大学と横須賀高校が連携し、地域における次世代教育に協力・貢献する総合研究大学院大学の取組として来年度から「横高アカデミア」と題した取組を実施する予定で、本年度はその前段階として3回の講義を実施することとなっており、その第1回として行われたこの日は長谷川真理子教授（生命共生体進化学専攻）が「性差」や「共生」をテーマに講義を行いました。19世紀の自然科学者ダーウィンの性淘汰の理論などを紹介しながら、性による違いが生じる理由などについて説明されました。横高アカデミアは、特別講義を受けた生徒たちに、新しい学術研究の世界、及び今後の日本の知性の行方を垣間見る機会を与え、学問フィールドにおける次世代リーダーの育成を目指すなどの狙いがあり、この日の講義には1年生を中心に約40人が出席しました。

なお、本年度は以下のとおり開催予定です。

- ・第2回特別講義 及川昭文 教授
- ・第3回特別講義 池内 了 教授



【文責 総務課】

「第12回先導科学研究科学術講演会開催」

総合研究大学院大学先導科学研究科では、地域社会との交流を深めるとともに、科学の新しい流れを創造する「光・生命・進化」に関連した研究の最前線を広く一般の方々に伝え、理解していただくことを目的として、去る11月3日（祝）に学術講演会「光・生命・進化」シリーズを開催しました。

当日は、地域住民を中心に約70名の参加者があり渡邊正勝先導科学研究科長の挨拶に引き続き、同研究科本郷准教授による講演「西アジア先史時代の動物利用～家畜化から遊牧の成立まで～」が行われ、西アジアにおいて野生の動物が家畜化され、遊牧が成立するまでを、ご自身の発掘作業から得た情報を基に説明があり、参加者からは大変興味深いとの意見が相次ぎました。

次に、同研究科颯田教授による講演「退化による進化～ヒトが進化の過程で失ったもの～」では、具体的な例を示しながら、ヒトが進化の過程で失った遺伝子と、失ったことのヒトへの影響をわかりやすく説明し、参加者は納得した様子で講演に聞き入っていました。

講師の話が終了後も興味を持った参加者から質問が相次ぎ、予定時間を超過しましたが、参加者は皆今回の講演に大変満足のいく様子でした。



【文責 葉山共通事務室】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
平成 21 年度(第15回)総合研究大学院大学 長倉研究奨励賞	平成 21 年 12 月 18 日(金)まで	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
平成 22 年度総合研究大学院大学 学長賞	平成 21 年 12 月 18 日(金)まで	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初 日の前月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000175.html		

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

12月

日程	時間	行事名	場所
14 日(月) -17 日(木)		平成 21 年度総研大国際シンポジウム 国際的学術研究ネットワーク構築にむけ て	総合研究大学院大学 葉山キャンパスおよび湘南国際 村センター

1月

日程	時間	行事名	場所
8 日(金) -9 日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	葉山キャンパス
15 日(金) -17 日(日)		総研大レクチャー プレゼンテーションセミナー2010	放送大学 ICT 活用・遠隔教育 センター総研大講義室

<基盤機関の行事>

12月

日程	時間	行事名	場所
12 月 1 日(火) -1 月 31 日(日)		くらしの植物苑特別企画 「冬の華・サザンカ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
5 日(土)	10:30-17:00	歴博映像フォーラム 4 「筆記の近代誌一 万年筆をめぐる人びと」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館
5 日(土)	13:30-15:30	第 129 回くらしの植物苑観察会 「サザンカの楽しみ方」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
6 日(日)	13:30-15:30	みんなく映画会 「極北の怪異(極北のナヌーク)	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies0910sp.html#3	
7 日(月) -9 日(水)		アクセラレータボードを使った高速化スケー ル	高エネルギー加速器研究機 構
		http://suchix.kek.jp/bridge/Accel09/	

8日(火)まで		特別展「自然のこえ 命のかたちーカナダ先住民の生みだす美」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/special/canadian/canadian_s.pdf			
8日(火)	14:00-16:00	第229回 日文研フォーラム 「近世日本における開帳と秘仏の文化」	ハートピア京都3階大会議室 主催:国際日本文化研究センター
http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html			
8日(火) -10日(木)	8日: 10:30-18:15 9日: 10:00-18:15 10日: 12:15-18:00	国際シンポジウム 「アンデス言説をめぐるコンフリクト」	8日・9日:国立民族学博物館 2階第6セミナー室 10日:大阪大学大学院人間科学研究科ユメヌホール
http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/091208-10.html			
8日(火) -11日(金)		第19回国際土岐コンファレンス(ITC19) 「プラズマと核融合研究における先進物理」	セラトピア土岐 主催:核融合科学研究所
http://peras.nifs.ac.jp/itc19/center			
11日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
12日(土)	14:00-16:00	第312回歴博講演会 「生業からみた旧石器から縄文」	国立歴史民俗博物館
14日(月)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「生活を見守るライフログー物忘れがなく なる社会は実現するか?ー」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=315			
19日(土)	13:00-17:00	第6展示室関連フォーラム:第73回 「戦後日本の大衆文化」	東商ホール 主催:国立歴史民俗博物館
19日(土)	13:30-15:00	第379回みんなくゼミナール 「被災地が育む新たな絆」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s377			
26日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			

1月

日程	時間	行事名	場所
8日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			

9日(土)	14:00-16:00	第313回歴博講演会「東海道の創造力」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	9:00-12:30	宇宙学校・おおふなと	リアスホール 共催: JAXA、大船渡市
16日(土)	13:00-17:00	第74回歴博フォーラム「新春トラの巻」	ヤクルトホール 主催: 国立歴史民俗博物館
16日(土)	13:30-15:00	第380回みんなくゼミナール 「対談 アレクサンドロスの道を撮る—写真家、大村次郷×山中由里子」	国立民族学博物館 講堂
			http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s377
19日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「ゲノムと情報学-あなたの体質や生物の進化をゲノムから知る方法とは?-」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
23日(土)	13:30-15:30	第130回くらしの植物苑観察会 「出土資料からみたツバキ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	時間未定 (午後)	宇宙学校・とくしま	徳島県立あすたむらんど子ども科学館 共催: JAXA、徳島県立あすたむらんど子ども科学館
23日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
			http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html
24日(日) まで		企画展示: 縄文はいつから! ? -1万5千年前になにがおこったのか-	国立歴史民俗博物館
			http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html

2月

日程	時間	行事名	場所
9日(火)	10:00-16:00	マルコフ連鎖モンテカルロ法の基礎と実践 (2010年版)	統計数理研究所 (立川) 大会議室
			http://www.ism.ac.jp/lectures/21p.html
2月9日(火) -3月7日(日)		ミニ企画展示: 和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
12日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
			http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html
13日(土)	11:00-12:00	歴博探検「古墳のたからもの」	国立歴史民俗博物館
13日(土)	14:00-16:00	第314回歴博講演会 「正倉院文書を複製する」	国立歴史民俗博物館

17日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「膨大な文書の処理技術ーテキストの山を斬って見えてくるものは?ー」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
	http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=315		
20日(土)	13:30-15:00	第381回みんぱくゼミナール 「あたらしいアフリカ展示のメッセージ」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html		
27日(土)	13:30-15:30	第131回くらしの植物苑観察会 「造花にこめられた春の祈り」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		

<教員の受賞情報等>

複合科学研究科

情報学専攻

- 計宇生 准教授
IEEE (米国電気電子学会)
Excellent Paper Award 受賞

生命科学科

遺伝学専攻

- 五條堀孝 教授
紫綬褒章 受章

【編集後記】

総研大ニューズレター第 19 号をお届けします。

カレンダーも残り 1 枚となり、各地でクリスマスのイルミネーションを見かけるようになりました。クリスマスの華やぎとは別に年の瀬の慌ただしさも感じられます。

今月号は第 2 回総研大合同フォーラムがトップニュースになっています。参加して総研大では本当に幅の広い研究が行われているということを実感しました。大学関係者でも直接先生方の講演などを聴く機会は限られており、また今回はいろいろな分野の話を一同に聴けるということもあり、改めて総研大持つ可能性を感じることができました。今後このフォーラムが広く一般の方に周知されて、大学の知名度が高まることを期待しています。

少し早くてすみませんが、今年も 1 年ニューズレターに原稿をいただきありがとうございました。みなさまのご協力のお陰で 19 号まで回を重ねることができ、大学評価でも高い評価を得ています。来年のことをいうと鬼が笑うといいますが、引き続き来年もよろしくお祈りします。

最後になりましたが、みなさま良いお年をお迎えください。

[総務課]

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2009 年 12 月 2 日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI